

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	文化・スポーツ	課長名	沖田純一郎			
	施策	17 芸術文化・文化財保護の充実		重点施策の該当	H30	-	2019
施策の目的	対象	市民	意図	郷土に誇りと愛着を持ち、豊かな心を育むことができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.1	61.2	65.1 (65.0)	70.0	71.0	72.0
地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	42.8	39.6	53.0 (54.3)	59.5	60.0	60.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
66.2	33.0	69.2	33.4						
重要度DI	満足度DI								
60.5	22.8	65.7	23.6						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
芸術・文化活動の推進		芸術文化に親しみを感じている人の割合(%)	28.8	33.8	34.7 (32.0)	34.0	37.0	40.0
芸術・文化活動の推進		文化月間(11月)中のイベント参加者数(人)	1,500	1,761	4,597 (1,800)	1,800	1,800	1,800
文化財保護の充実・活用		(国・県・市)指定等文化財件数(件)	68	69	73 (71)	75 (73)	76 (74)	77 (75)
文化財保護の充実・活用		郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.1	61.2	65.1 (65.0)	70.0	71.0	72.0
文化財保護の充実・活用		郷土の文化の保存・保護が大切と思う人の割合(%)	88.5	88.6	89.6 (88.9)	89.0	89.5	90.0
伝統文化・民俗芸能の保存と活用		地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	42.8	39.6	53.0 (54.3)	59.5	60.0	60.0
伝統文化・民俗芸能の保存と活用		郷土芸能公開数(件)	8	11	11 (10)	11 (10)	11 (10)	11 (10)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・各地域に所在する文化財が、人口減少・高齢化などで地域住民による保存保護(管理・環境整備)が困難となり、行政が対応する事例が増えてきた。同じく郷土芸能についても、少子高齢化により、保存保護公開がこれまでと同じようにならなくなっている。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・平成30年度は明治維新150周年及び市制施行60周年であったことから、関連するイベント・企画展を積極的に行い、市民に郷土の文化財の普及啓発を図ることができた。自主文化公演を開催し、市民に芸術文化に親しみをもってもらえた。
現状・課題	・保存保護が必要な文化財については、調査研究を行い指定に努めていく。文化財保存活用地域計画の策定に取り掛かりながら、文化財の活用については経済観光課・企画課との連携に努めていく。自主文化公演については、市民のニーズを考慮しながら予算の範囲内で招聘できるものを開催していく。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	・文化財保存活用地域計画の策定に向け検討を行う(2021年度策定)。博物館施設・観光施設である鉄砲館の館内リニューアル実施に向け調査・検討を進めていく。自主文化公演事業については、市民グループ等に委託することで、職員の業務改善を目指す。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	・施策担当課が記載する方向性のとおり。